



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

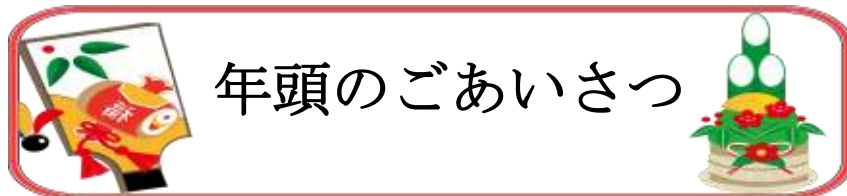


淑気満つ元旦の空を仰ぎ、清澄なところで、この1年の武蔵野の福祉を展望しています。年が改まった感懐を胸に、サービスの益々の向上に福祉公社は尽力いたします。



<紙面から>

理事長ご挨拶	・・・1ページ
各部署からの年賀状	・・・2ページ
	・・・3ページ
お知らせ・リレーコラム	・・・4ページ



新年 明けましておめでとうございます。

皆様には、ご健勝にて佳き年をお迎えになられたことと、心よりお慶びを申し上げます。

昨年は、“自然災害”や“尊い人命”に対して胸を痛める世界規模での出来事が、数多く発生しました。

それらを報道で見聞きするにつけ、今年こそ平和で安心した生活が送れるようにと、この初春に祈るばかりです。

さて、武蔵野市は平成27年度を開始年とする「高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」を策定しましたが、この計画では【武蔵野市における2025年へ向けた“まちぐるみの支え合いのしくみづくり”】として、市民と行政が一体となった取組を推進していくと述べられています。

もはや福祉制度だけでは山積する様々な課題を解決できず、行政と市民とが手を携えることや市民力の結集が求められている状況です。

それと軌を一にして、福祉公社においても、「第2期中長期事業計画」を策定し、運営方針の柱のひとつとして、「市民と協働して地域の支え合いによる福祉力の向上に努める」ことを掲げています。

各事業部門では、この計画を着実に推進していくために、市民の皆様へ、ご理解ご協力をお願いすることも多々あると存じますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

また、日常業務を通して、繊細にご利用者の生活課題や武蔵野の福祉に対する気付きを得、サービスの質量共なる向上にも、刻々瞬々、意を注ぐように職員に求めております。

創業時の「住み慣れたところで一生を」の理念を念頭に、本年も役職員一同、一生懸命に頑張っていく所存です。

皆様方のこの一年のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。



理事長 長澤博暁



謹賀新年



2016 さとし

高齢者総合センター
管理・社会活動センター
センター長 小野 宗祐
職員一同

平成27年12月9日 クリスマスコンサート

貴重な福祉資源である総合センターが、皆様の健康長寿のお役に立てるように尽力します。

あけましておめでとうございます

権利擁護センターは、「つながりサポート事業」「地域福祉権利擁護事業」「成年後見」の実施により、皆様の“安心”を支えています。

市民の皆様が住み慣れた“むさしの”で生活を続けられるよう「生活困窮者自立支援事業」や「住宅確保給付金事業」では自立の支援をしています。

在宅サービス課 課長 荒井 好美
権利擁護センター センター長 小林ひとみ
職員一同

福祉公社 36年のサービス実践を継承してご利用者の安心の日々を支えます。

成年後見等受任通算 124 件の実績は、
正直に築き上げてきた信頼の証しです。

全力で皆様方の
在宅生活を支えます。

在宅介護支援・補助器具センター
センター長 松原 友子
職員一同

明けましておめでとうございます

スタッフの総力を挙げて、まちぐるみの支え合いを、更に更に前進させます。

人と人のつながり、人とサービスのつながり、サービス同士のつながりを有機的に紡ぎます。

ケアリンピック先進事例発表での優秀賞受賞を励みとして、地域に開かれたデイサービスを前進させます。

「デイサービス 〓 地域社会 〓 まちぐるみの支え合い」です。

2016

クリスマス会スタッフ出し物「大きなかぶ」

陶芸班

謹んで新年のお慶びを申し上げます

高齢者総合センター デイサービスセンター
センター長 方波見 美穂
職員一同

謹賀新年

皆様が住み慣れた武蔵野市で、いつまでも安心して暮らしていただけるよう総務課一同努めてまいります。
本年もよろしくお願い申し上げます。

事務局長 福島 文昭
総務主査 新谷 まどか
職員 一同

公益法人としての福祉公社を基礎から支え、各部署がより良くサービス提供できるように縁の下の力持ちとなります。



コンピューター時代に残された、人による尊い手仕事が介護です。ケアリンピックで提唱された「新たな3K」、「感謝・感動・希望」の訪問介護を築きます。

ご利用者と多士済々のボランティアとのこころ温まる世代間交流、充実したプログラム、グルメもうなる食事サービスはセンターの宝です。



みんながいて
やすらぎ育む
北町高齢者センター

山崎倫子先生・浩先生御夫妻の
こころざしを継承して、センター
発展に力を尽くします。

北町高齢者センター
所 長 服部 哲治
センター長 上田 令子
職員 一同

自立支援のケアプランをまごころこめて組立て、ご利用者の尊厳ある老後生活をサポートします。



会社からのお知らせ

ご意見を承ります

お蔭様で「羅針盤」も発行以来3度目の新年を迎えることが出来ました。つきましては、皆様からのご意見、ご要望を承り、今後の紙面の充実に反映していきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

連絡先 総務課 広報担当 ☎23-1165 kouhou@fukushikosha.jp

老いじたく講座

尊厳ある 老後生活を 目指す方に

日時 1月26日(火) 13時30分から15時

場所 福祉公社1階会議室

内容 老い支度の基礎知識

問合せ・申込 権利擁護センター ☎23-1165

施設介護サポーター養成講座研修 受講者募集

日程 1月26日(火) から29日(金)

場所 北町高齢者センター 2階会議室他

費用 無料

問合せ・申込 詳細は北町高齢者センター

担当：上田まで ☎54-5300

職員リレーコラム

第20回

《新年を迎えて》

補助器具センター

石橋 美奈

新春、こころ新たに1年を展望し、市民の皆様のお役に立てるように、福祉公社の職員として、誠心誠意努めていきたいと気を引き締めております。私には支援の仕事をするうえで大切にしている指針があります。敬慕する義父から教えられたものです。義父とは12年間生活を共にしましたが、同居を始めて4年目に要支援1となり、時の経過と共に最後には要介護5となりました。病気のため痛みも強く、身体的にも不自由だったのですが忍耐強く穏やかで、一切の弱音を吐かない人でした。そして家族や周囲の人にも気を遣う優しい人でした。その義父が好きな言葉に「目の前の山を登る」というものがあります。研究職として、長年研究に打ち込んだ義父らしい言葉です。止まることなく、目移りすることもなく、目の前の山を登っていれば、いつか頂上に着く。私も、義父と同じように一步一步目の前の山を登り、時折、その足跡を振り返り、自己を省みて、日々喜怒哀楽と共に前に進んでいきたいと考えています。その経験は支援者である自己の成長をもたらし、市民の皆様に寄与できると信じています。本年もご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げ、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

⇒ 次回は 総務課 島田 健一

*前号(33号)で誤記がありました。訂正しお詫びします。1ページ あんさんぶる **A lugo Pino** ⇒ **A lungo Pino**

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成28年2月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>